

2014年度 キャリア教育全体計画

鳥取県立倉吉養護学校

■キャリア教育とは■
一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

■学校教育目標■
児童生徒一人一人の障がいの状況や発達課題に即した教育を通して、その可能性を最大限に伸ばすと共に、身近生活の自立と集団や社会生活への参加をめざして、たくましく生きることのできる人間を育成する。

■教育関係法規■
☆日本国憲法
☆教育基本法
☆学校教育法
☆学習指導要領

■キャリア教育の目標■
職業生活、家庭生活、社会生活等における様々な立場や役割をキャリアとしてとらえ、一人一人がふさわしいキャリアを形成し、自立していけるよう、必要な意欲・態度等を育てることを目指す。
(幼児教育、初等教育段階から高等教育段階まで様々な教育機関において実践されるだけでなく、成人も対象とする。)

■めざす児童生徒の姿■
☆元気で明るい子 ☆自分で考え行動する子
☆自分の考えが伝えられる子 ☆仲間と助け合ってはたらく子

■児童生徒・保護者の願い■
・自分のことは自分でできるようになりたい(なっほしい。)
・毎日、元気に楽しく生活したり、地域の中に友達がほしい。

■学部目標■
《小学部》経験・心の耕し・スキルの獲得
個々の発達段階を考慮し、いろいろな経験を積むことで意欲を育み、基礎となるスキルの獲得を目指す。
《中学部》よさを生かす方向性をさぐる
個々の興味・関心や適性に応じた活動をさぐり、主体的に取り組む力を育てる。
《高等部》社会への適応、生活の安定
充実した社会生活を目指して培ってきた力や経験した活動を卒業後の生活に生かせるようようにする。

■キャリア教育部の方針■
児童生徒・保護者の思いや願いを支え、その実現に向けた適切な支援ができるよう、小学部からの組織的、系統的なキャリア教育を推進する。

☆主な事業内容☆
進路に関する学習の計画、職場開拓・追指導、研修会の実施(PTA、教職員)、進路相談会・移行支援会議の実施、進路に関わる諸会議への参加など

■キャリア教育 学部方針■
《小学部》生活に即した体験的学習をとおして、自分から、物事に取り組もうとする意欲・態度及び日常生活に必要な力が身に付くよう支援する。
《中学部》作業学習や校外学習などをとおして、社会生活に対する関心を高め、みんなとともに働くことや自分らしさを表現する力が身に付くよう支援する。
《高等部》作業学習や現場実習などをとおして、社会生活に必要な実質的な知識・技能を身に付けるとともに、職業に対する理解を深め、自己実現の道筋をつかめるよう支援する。

■各学部段階におけるキャリア教育発達能力の目標■				
各学部段階	小学部	中学部	高等部	
職業(進路)発達段階	身近自立の確立と人間形成の基盤形成	社会生活能力と自己表現力の育成	社会生活能力の確立と自己選択・自己決定力の育成	
キャリア教育発達能力	ささえる力	生活するために必要な力の基礎となる力を育てる。	生活するために必要な力の基礎となる力を育てる。	
	かかわる力	教師との信頼関係や支えをよりどころとして、人や物に対して関心を持つ。	教師の見守りの中で、仲間と協力したり、思いを共有したりする。	自分の自信や役立ち感を認識し、場面や目的に応じて適切に関わる。
	くらす力	身の回りのことを自分でやってみようという意欲を育て、身近生活の処理能力を高める。	生活の場を広げ、社会生活における基本的な態度や知識・技能を身に付ける。	身に付けた生活上の知識及び技能・態度を生かしながら、社会生活の中でよりよく暮らす力を高める。
	たのしむ力	遊びやいろいろな経験をとおして生活そのものを楽しむ。	地域資源やスポーツなどを、個人や集団で楽しむ。好きなことをやるための手段がわかる。	趣味を広げたり、深める方法を知る。自分の趣味・関心に基づいた活動ができる。
	はたらく力	学習や遊びに進んで取り組む。様々な役割があることを知る。	基本的な働く力を身に付ける。自分の役割がわかる。	主体的に働く力を身に付ける。自分の役割を果たす。

■各教科・領域等におけるキャリア教育発達能力の指導目標■							
教科別の指導(国語、算数、音楽、体育)	領域別の指導			領域・教科を合わせた指導			総合的な学習の時間
	特別活動	自立活動	道徳	生活単元学習	作業学習	日常生活の指導	
日常生活を主体的に暮らすために必要な基本的な概念や知識・技能を身に付ける。	クラブ活動や交流活動をおとして、自分から活動しようとする意欲を高める。	具体物や絵カード等を利用して、基本的な認知の概念形成を促す。	生きる上で基礎となる道徳的価値観の形成を図る指導を徹底するとともに、自己の生き方についての指導を充実させる。	生活に結びついた活動を意欲的、主体的に取り組み、成就感を味わう。		生活の流れに沿って、必要な支援を受けながら、衣服の着脱や排泄、食事等ができる。	
社会生活に必要な基本的な知識や技能を身に付け、生活の中に生かすことができる。	学級や生徒会の中で決められた役割を果たしたり、余暇を楽しむことができる。	絵カードや機器等で自分の意思を伝える。スケジュールに沿って行動する。	思春期の特性を考慮し、社会との関わりを踏まえ、人間としての生き方を見つめさせる指導を充実させる。	社会的な意義を持つ活動をおとして、社会生活への知識・技能・関心を高める。	作業をおとして、働くことの意義や喜びを感じ、働くことに慣れる。	友達と協力して係活動を行ったり、スケジュールを見て、一人で行動できる。	地域のイベントや行事に参加したり、公共施設を利用したりできる。
社会参加と自立に必要な知識や技能を身に付けたり、主体的に表現・判断・決定できる。	自分たちが必要なことを調べたり、話し合って計画を立てて活動することができる。	生活に見通しを持って、安定して課題に取り組むことができる。	社会の一員としての自己の生き方を探求するなど、人間としての在り方生き方についての自覚を一層深める指導を充実させる。	行事等の計画を自分たちで立て、実行し、自主的、主体的活動を行う。	作業や実習をおとして、作業能力を高めたり、社会生活に必要な知識・技能を身に付ける。	自主的、主体的に係活動や生活に必要な活動を自分で判断しながら行うことができる。	地域の歴史や文化・観光などを調べ、発表できる。

■キャリア教育推進の基盤■					
専門性の向上	保護者との連携	地域との連携	関係機関との連携	校内の組織づくり	啓発活動
・自主的、主体的な活動を促す具体的な支援の方法。 ・児童生徒の思いを育てるキャリアカウンセリング。	・進路研修会 ・連絡帳の活用 ・懇談 ・ケース会議、支援会議	・地域行事への参加 ・交流、共同学習 ・地域資源の活用 ・居住地交流	・福祉、医療、労働機関との定期的な情報交換 ・支援会議の開催 ・他校との連携	・全体推進計画 ・全体学習計画 ・学部、学年、校内分掌間の連携	・学校HPによる発信 ・就労セミナーの開催 ・職場開拓

